

ACROSS THE LAND

「境界線を越えて地の果てまで」ハンガリー宣教



ハンガリー人宣教への召し

西部中会恵泉教会牧師：川瀬弓弦(ゆづる)



主の御名を賛美します。

この度は、ハンガリー人宣教の召しについて皆様にお伝えをしたく、ニュースレターを送らせていただきました。

私は2009年に神戸改革派神学校を卒業してから、西部中会の教師として教会に仕えてきましたが、神学校に入るまでの約4年間、妻と共に東ヨーロッパに位置するルーマニアのクルージュという町で、一人の日本人宣教師と共に宣教活動をしておりました。幾つもの不思議な導きにより、この町に多く暮らしているハンガリー人の教会と出会い、子供たちや青年伝道を中心とした働きに携わることになったのです。そこで与えられた多くの出会いと、また直面した数々の厳しい教会の現実に触れる中で、私たちの内にハンガリー人伝道への強い召しがあることを確信するようになりました。

しかし、十分な神学教育も按手もない中で宣教を続けることに限界を覚え、神学校で学び、将来的には日本キリスト改革派教会の宣教師として再びハンガリー人伝道に携わることを決意し、2006年に帰国をしました。それから15年が経ち、沢山の家族も与えられましたが、なおも宣教の思いは途切れることなく、宣教の道が開かれることをこれまで祈り願ってまいりました。

そして今年に入り、私たちの召しに共感してくださった大会外国教会関係委員会やCRCの宣教師の働きかけにより、ハンガリー国内の改革派教会において、青年教育と伝道に携わる具体的な働きが示されました。来年度からの働きのために、すでにハンガリーでも受け入れ準備が進んでおり、私たちはここに神の御心があると確信し、来年5月ごろにハンガリーに移住することを決断しました。

この宣教への召しに応えるために、皆様の祈りと支援を必要としています。出発までに、一人でも多くの主にある兄弟姉妹とこの宣教の想いを共有することができれば幸いです。この働きが私たちだけではなく、教派全体の宣教となっていくことを願っています。



ルーマニアでの家庭集会の一コマ

川瀬家のご紹介

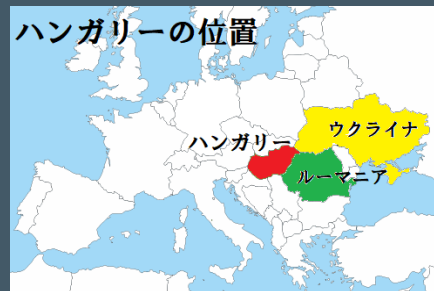


エダ姉 (ウクライナ系ハンガリー人)
志恩 (しおん：中学3年)
なおみ (小学6年)
ヨハンナ (小学3年)
俐咲 (りさ：3歳)

ハンガリーという国

ハンガリーの国土は日本の四分の一の大きさで、人口は約1000万人弱の東ヨーロッパの小国である。かつてはハプスブルク家で有名なオーストリア・ハンガリー帝国として大きな勢力を持っていたが、第一次世界大戦の敗北による賠償として、三分の二もの領土を失い、多くのハンガリー人が周辺諸国に取り残された。エダ姉もそうした在外ハンガリー人の一人で、ハンガリーには一度も住んだことがない。大戦後はソビエト連邦に属する共産国として、長く苦しんだ歴史も背負う。

ハンガリーの位置



宣教のビジョン（目的）

私たちの宣教には二つのビジョンがあります。



①ハンガリー改革派教会(RCH)と共に

ハンガリーの青年たちに、福音の言葉と音楽を通して、神をより深く知り、心からの礼拝をささげる喜びを届けたい。

ルーマニアでも西部中会でも、特に子供たちや中高生たちの働きに深く関わらせていただき、また様々な機会を通して賛美する喜びを伝えてきました。今後はハンガリー改革派教会(RCH)と共に、首都ブタペストを拠点とした活動を行うこととなります。ハンガリー改革派教会内には様々な伝道・教育活動がありますがその中で特に青年伝道を目的とした部門(Csillag Pont/チラッグポント)の一員として活動をしていく予定です。全国規模のユースキャンプ、様々な集会や学び会の主催、インターネットを使った新しい教育・伝道活動といった企画のとりまとめを担うチームとなります。



②日本キリスト改革派教会(RCJ)と共に

日本キリスト改革派教会の兄弟姉妹が、世界宣教に深い関心を持つことで、受けるよりも与えることの喜びに共に与りたい。

これまで日本の教会は世界中の教会と宣教師を通して支えられ、多くの益を受けてきました。そんな日本から宣教師を送り出すことを不思議に思われる方もおられるかもしれません。しかし、創立当初から私たちは世界宣教の幻を抱き、貧しいながらも与えることのできる喜びを共に味わってきました。私たちも4年間のルーマニア宣教を通して、日本の教会が歴史の長い欧米の教会に対して果たすことのできる霊的役割は決して小さくないことを教えられました。それは派遣する日本の教会にとっても必ず大きな喜びとなり、励ましとなると私たちは信じています。

活動支援のお願い

ハンガリー人宣教の実現のために、ご支援をお願いします。

この宣教の働きは、おもに私たちの召しに賛同してくださる兄弟姉妹の献金によって支えられることとなります。家族6人の生活費と活動費を合わせると日本での生活とほぼ同等の資金を要します。支援に関する具体的な内容とお願いについては、次回のニュースレターでお知らせします。

お祈りください

- ✦ コロナ禍が終息するように。 現在、両国における行き来と活動に大きな制限があります。
- ✦ 経済的な必要が満たされるように。
- ✦ 子供たちに合った学校が見つかるように。 特に長男は、渡航時に高校生年齢となりますので、最も重要な課題の一つです。

『受けるよりは
与える方が
幸いである』

使徒20章35節

Facebook / Instagram
で友達になりませんか？

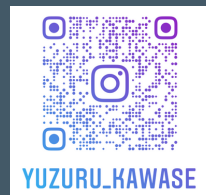
ハンガリーでの働きや祈りの課題をいち早く共有するために用いていきます。賛美動画の配信や今後の支援活動も行っていく予定です。関心のある方はぜひご登録ください！

<登録方法>

以下のQRコードを携帯・スマホで読み取るか、アプリより

yuzuru kawase

と検索して友達申請をしていただくと登録できます。



問い合わせ（現時点）

現在のところ、まだ事務局が設置されていません。今後支援活動の窓口としての事務局を整えていく予定です。ご質問等は、以下の個人メールまでお問合せください。

foreverhomeless@hotmail.com